

3 研究方法

コロナ禍での工夫① Google ドライブを活用した指導案検討と情報共有

Google ドライブを活用し、作成した指導案をクラウド上にアップすることで会員が好きな時に指導案を見ることができた。事前に指導案に目を通すことで検討日当日により内容の濃い検討となり、時間の短縮にもつながった。

コロナ禍での工夫② Excel スプレッドシートを活用した意見交換と感想交流

QR コードから簡単にスプレッドシートにアクセスできるようにすることで、研究方法のアイデアを集めたり、授業研究会についての感想を書き込んだりすることができるようになった。

コロナ禍での工夫③ Google meet を活用した集合型とオンライン型のハイブリッドな授業研究会

市一斉授業研究会当日には、密を避けるために教室に入る人数をできる限り少なくし、多くの参観者は同学校内の体育館にてリアルタイムで授業の様子を参観した。教師の指示や児童の発言、つぶやきが参観者に聞き取りやすいようにワイヤレスマイクによって音を拾った。感染症対策を行ったうえで、最大限にライブ感のある授業研究会を行うことができた。

4 年間活動報告

月	活 動 内 容
6月	重点研究会<重点研究立ち上げ・年間計画> (16日)
7月	審査部研修会・区部長会<読書感想文要項説明> (7日) 夏季合同研修<午前：実践提案 午後：講演会 講師 作家 くすのき しげのり 氏>
8月	関東学区学校図書館研究大会茨城大会<オンライン開催>
9月	重点研究会<重点研究指導案検討> (8日) 区部長・審査部研修<読書感想画研修>
10月	企画会 (6日)
11月	読書感想文コンクール市審査会 (24日) < (第1次審査は在宅審査)・第2次審査>
12月	市一斉授業研究会<横浜市立新治小学校> (1日) 第1次教育研究大会<オンライン開催>
1月	市読書感想画コンクール審査会 (12日)
2月	読書感想文画コンクール表彰式 (7日) 県小学校教育研究会中央研究大会<オンライン開催> (2日) 第二次教育研究大会<集合・オンラインハイブリッド開催> (9日)
3月	幹事会・区部長会・総会<オンライン開催> (9日) 企画会 (29日)

5 研究の成果と課題

- 「学びを止めない」のスローガンに則り、コロナ禍でもオンラインやクラウドサービスを活用して研究・研修を進めることができたのは成果と言える。
- 一人一台の GIGA 端末が本格導入されたことで、情報活用能力の一層の育成が必要となり、学校図書館研究部で目指す情報活用能力の横浜モデルの更なる実践と充実が求められる。